

今回の特集

新築戸建て住宅の
暖房選び戸建て住宅の暖房は
輻射式と対流式が主流

家を新築するなら、「冬でも家じゅう暖かで快適に過ごせる家を建てたい」と、誰もが思い描くもの。そこで非常に悩むのが暖房設備をどうするのかという問題です。寒さの厳しい地域に住むのであればなおさらのこと。暖房はいろいろな種類があるので、迷ってしまう人も多いと思います。

比較的広い範囲を温めるのに適した暖房機器は、大別すると、パネルヒーターなどの「輻射式」と、エアコンなどの「対流（温風）式」とに分けられます。輻射式暖房は空気を温めるのではなく、赤外線を放出して壁や床、天井など表面温度を上げて、部屋そのものを温める暖房方式。いっぽうの対流式暖房は空気を暖めて室内に対流・循環させる暖房方式です。このほか、ホットカーペットなどの直接、体に触れて熱を伝える「伝導式」という暖房方式もありますが、室内全体を温めるには適していません。

コストパフォーマンスを最優先ということであれば、「エアコン」が最適です。エアコンは「ヒートポンプ」という省エネ技術を採用しており、室外にある空気中の熱を集めて室内へ熱を渡すので、他の暖房機器と比べてエネルギー効率が良く、安全性の高い暖房機器です。ただし、エアコンは、

新築で注文住宅を建てる場合、さまざまな要望に応じてくれるのは大きなメリットですが、反面、選択肢が多すぎて迷うケースもしばしば。暖房機器選びもその一つです。そこで今回は、戸建て住宅の暖房について、クローズアップしてみましょう。

室内が乾燥しやすいため、加湿器との併用が欠かせません。北海道や東北といった寒冷地での新築戸建て住宅では、熱源装置で温水や温風を作ってパネルヒーターを通じて家全体を暖めるセントラルヒーティングが主流です。室内で火を使わないので火災の心配がなく、パネルヒーターはあらゆるインテリアに馴染みやすいデザイン性の高さが人気の秘密です。

暖房選びと

気密・断熱はセットで考える

毎日を快適に過ごせる暖かい家にするには、暖房機器の性能もさることながら、家の断熱・気密性能の高さがさらに重要です。暖房選びと断熱・気密はセットで考える必要があります。

「FPの家」は、高性能なFPウレタン断熱パネルと徹底した気密施工で、高断熱・高气密を実現。外の温度を室内に入れず、室内の温度を外に逃がさないため、魔法瓶のような役割を果たします。そのため、冬の寒さに影響されにくく、通年、快適に過ごせる優れた住宅として評価されています。また、室内の温度差がなくなると、ヒートショックや心筋梗塞、脳卒中などのリスクが軽減されるため、高齢者や小さなお子様など、家族全員に優しい住まいにもなります。

家の新築を計画するなら、暖かく快適に過ごせる「FPの家」で、大切な人と理想の暮らしを実現しませんか。





冬のなんでも相談会



冬のなんでも相談会開催

「家づくり…いったい何から手をつけたいのか」
 「今、話題の平屋の住まいの利点は何かかな?」
 「わたしにとって暮らしやすい家ってどんなかな?」
 「FPの家のことをもっと知りたい!」

という方、ぜひお気軽にご参加ください。
 家づくりに関する疑問やお悩みにわたしたちがお答え致します。

この機会にぜひご来場ください。
 お電話でのご予約お待ちしております。

FPの家がよくわかる、公式動画配信サイト

FP WEB. TV もぜひご覧ください。

<https://www.fpweb.tv/> QRコードはこちら→

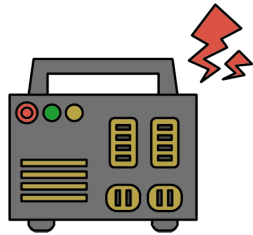


感染予防対策を徹底の上、実施させていただきます。
 す。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



住まいの知恵袋

ポータブル電源



アウトドアやキャンプ、災害時への備えとして、最近、家電量販店などでよく目につくようになったポータブル電源。大容量のバッテリーを搭載し、AC/DCポートやシガーソケット、USBポートなど、さまざまなポートに対応しているのが特徴です。ポータブル電源のバッテリー容量

は「Wh (ワットアワー)」で表示される、1時間の消費電力で確認できます。例えば、100Wの家電を3時間使いたい場合は、100W×3時間=300Wh以上のバッテリー容量が必要です。バッテリー容量が大きければ大きいほど、ポータブル電源のサイズも大きく、重くなるため、使用用途を考えた上で選びましょう。また、製品によっては対応できるポートの種類や数が異なるので注意が必要です。

《ほりもと通信について》

弊社ホームページからはいつでもご覧いただけます。
 ぜひご利用ください。

DM 不要の方はご連絡ください。QRコードはこちら→



できた! / 簡単DIY

端材でDIY アイデア



今回は、DIYで使った木材の余った端材を生かして、新しいものづくりをする端材のリサイクルアイデアをご紹介します。普段よく使うアイテムを手作りすれば、愛着も湧き、毎日の生活も楽しくなるのでオススメです。

2×4材の廃材で作るティッシュケースはいかがでしょう? ティッシュ箱に合わせて木材をカットして木工用ボンドで張り合わせれば、かんたんに製作できます。そのまま使っても良いですが、好きな色を塗ればかわいく仕上がりますよ。2×4材の廃材を木工ボンドで組み合わせれば、ベンチもかんたんに作れます。座面と脚部分をたがい違いに組み合わせれば強度を保ちながらも一体感が出るデザインベンチが完成です。是非トライしてみてください。

インスタグラム更新しています。

@horimoto_koumuten

#ほりもとグラムで検索お願いします。

いいね! フォローお待ちしております。QRコード→



編集後記

新しい一年が始まりました。お正月はなかなか会えない友人からの写真付き年賀状を見ながら、『あの子がこんなに大きくなったの?!』、『風貌が変わりすぎて誰だか分からない…』など感想を話しながら、楽しくのんびりと過ごしました。今年は友人にも気軽に会えるといいなと思います。冬休みに子供たちを初めてスキー場に連れて行きました。子供たちは大盛り上がり! 私は少々億劫だったのですが(準備も一苦労)楽しそうな姿に行ってよかったなと思いました。~気が向かなかったけど、やってみたら楽しかった~こういう出来事は案外多いのかもしれませんが。

今年も健康に気を付けながら、フットワークを軽くして楽しく過ごせたらと思います。本年もどうぞよろしくお願い致します。

株式会社 堀本工務店

〒920-0005 金沢市高柳町4の1番地2

TEL: 076-252-0288

メール: mail@horimotokoumuten.com

HP: <https://horimotokoumuten.com>

HPのQRコード

はこちら↓

